

『私のおすすめの1冊』7月分

書名	著者	出版者	コメント
紙つなげ！彼らが本の紙を造っている再生・日本製紙石巻工場	佐々涼子	早川書房	10年前に出版された書籍で、東日本大震災で被害にあいながらも、製紙工場の再生に奮闘していく従業員の人たちのお話（ノンフィクション）です。ひとり一人が何をできるのか考えさせられた一冊です。
もう誘拐なんてしない	東川篤哉	文藝春秋	やくざの娘と共謀して狂言誘拐をする主人公。そこから、まさかの殺人事件に発展し、シリアス展開になると思いきや、コメディ満載の作品でした。「謎解きはディナーのあとで」の作者さんです。
俺の残機を投下します	山田悠介	河出書房新社	自分とまったく同じ頭なのに、性格がまったくちがっておもしろい。
オー！ファーザー	伊坂幸太郎	新潮社	父親が4人いる少年が主人公という設定がまず面白くて、その少年と父親4人が巻き起こすコメディあり、サスペンスありの物語がとっても面白いです！！

※ 『私のおすすめの1冊』を募集しています。
所定の用紙に記入の上、投入箱へお願いします。